

# 検証資料1

## 地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告 (各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

本事業における重要業績評価指標	本事業開始時 (H27)	目標年 (R3.3)	本事業終了時 (R2.3)	実績 (R2.3)
5年間の総移住者数	612人	1,670人増	1,600人増	1,232人増
サテライトオフィス進出地域の拡大	6市町村	6市町村増	6市町村増	1市町村増
「協働実践活動」への県外参加者数	0人	70人増	30人増	43人
那賀町独自目標 移住体験希望者数	-	5世帯15人	5世帯15人	41世帯71人

交付対象事業の名称	実績額		外部有識者からの評価	
	単位:円	内交付金	総合戦略KPI達成 への効果	外部有識者からの意見
1 とくしま回帰促進！県民総活躍推進戦略(eラーニング講座制作委託) ●「関係人口」創出に向けた基盤構築とプロモーション展開 本町の伝統文化や豊かな農林水産資源などの魅力発信により「関係人口」の受入れ体制構築に実証的に取り組む。	9,713,000	4,856,500	無 1 2 3 (4) 5 有	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録数と成果の結びつきに関する検証が必要ではないか。</li> <li>制作後の広報活動がもう少し必要だと思う。</li> <li>映像を各分野で共有し、体験型のイベントと連携するなど具体的に活用できるようにしてはどうか。</li> <li>那賀高校は町外や県外に幅広くPRする機会となり、生徒募集に関してなど、大変効果があった。</li> </ul>
合 計	9,713,000	4,856,500		

**【名称】 とくしま回帰促進！県民総活躍推進戦略**

**【事業主体】 株式会社NTTドコモ四国支社**

**【総事業費】 9,713,000 円**

うち、地方創生推進交付金 4,856,500 円

## 那賀町地方創生推進交付金事業 eラーニング講座制作

### 1. 業務概要

#### 1.1. 業務の目的

本事業は、「双方向 eラーニング・プラットフォーム」（インターネット情報技術を用いた教育手法）という情報技術を活用して町の魅力を最大限開拓・発信することで、魅力・長所の再発見を促し、移住・交流の促進と地方創生人材の確保・育成に資することを目的に実施した。

#### 1.2. 業務の内容

##### (1) オンライン講座用動画コンテンツ等の作成業務

「伝統文化」「自然」「食」「アクティビティ」「仕事」の切り口で那賀町の魅力を紹介する eラーニング講座コンテンツを作成した。構成は5章立てとし、全60単元、映像の長さは全体で500分程度、講座外の特典映像も付加した。また、各章には学んだ知識を確認する問題を設けた。

##### (2) オンライン講座配信準備業務

本講座のリーフレット原稿、受講生募集告知ウェブサイト、プロモーション用動画（約5分）を作成した。

受講生募集開始の告知は、eラーニング・プラットフォームのウェブサイトのほかに、同 SNS 公式アカウントやプレスリリース、メルマガ配信、各所でのリーフレット配布等により実施した。

##### (3) 業務実施期間

2019年5月16日～2020年3月19日

##### (4) 成果品

映像データ 1セット、字幕ファイル（日本語）、報告書、  
広報用ツール（チラシ原稿、プロモーションビデオ）

### 2. オンライン講座配信プラットフォームについて

作成した eラーニングコンテンツの配信は、ドコモ gacco（運営会社：株式会社ドコモ gacco）にて実施する。

gacco サービスは、日本初、国内最大のインターネット経由で受講可能な大規模公開オンライン講座のプラットフォームである。講座は、オンラインビデオ学習、理解度テスト、オンラインディスカッションで学習を進め、最終テストやレポート提出により、修了証を発行している。

講義動画画面では、講師の話やナレーションが字幕表示され、内容確認・検索が可能となっており、受講者の利便性を高めている。

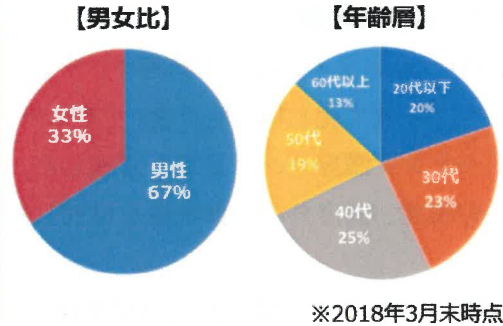
オフラインでの集合型研修も合わせて実施する場合もあるが、今回の那賀町 eラーニング講座では、那賀町での現地体験を有機的に組み入れ、受講者に那賀町を訪問していただくよう誘導し、関係人口の拡大を図ろうとするものである。

## gaccoサービスの概要

- \* **日本初のMOOCプラットフォーム**（2014年4月サービス開始）
- \* **全世界で信頼されるMOOCアーキテクチャedXを利用**（MIT、ハーバードが採用）
- \* **国内最大のMOOCプラットフォーム**（JMOOC登録者数の95%がgacco会員）
- \* **多数の省庁や大学での導入実績のあるMOOCプラットフォーム**

## gaccoの概要

- 会員登録者数 **約60万人**（国内最大）
- 無料講座を含め**400講座以上**の開講実績
- 1講座あたり**3000人～2万人**が受講登録
- 講座の**約半数で対面授業**を実施
- **教育機関/官公庁/自治体/民間企業**での実績



「よくわかる！IPS細胞」  
京大IPS細胞研究所 山中 伸弥 所長



「経営マネジメント入門」  
グロービス経営大学院 田久保先生



「脳と創造性」  
茂木 健一郎先生



「統計学入門」  
東京大学 竹村先生

## 学習の流れ

- ① **ビデオ講義**を視聴し、基礎知識を習得する
- ② **オンラインディスカッション**を通じて、講師および受講生同士とのコミュニケーション
- ③ **理解度テスト**による知識定着
- ④ 集合型学習による実践トレーニング（任意）
- ⑤ **最終テスト** または **レポート**を提出
- ⑥ **修了証**を発行（努力の証）



講座の構成 (5部構成)

	章名	No	構成要素名 (単元)	想定時間
第1章	徳島県那賀町の自然	1	はじめに	0:02:11
		2	徳島県那賀町の山を楽しむ	0:10:00
		3	山で見られる木々や葉っぱ 前編	0:12:40
		4	山で見られる木々や葉っぱ 後編	0:05:19
		5	山の見どころ	0:09:05
		6	那賀川の特徴と那賀川水系のダム	0:03:35
		7	長安ロダム	0:08:00
		8	川ロダム	0:05:57
		9	小見野々ダム	0:04:30
第2章	徳島県那賀町の伝統文化	1	徳島県那賀町の伝統文化について	0:01:48
		2	弘法大師の軌跡 那賀町と弘法大師	0:07:00
		3	弘法大師の軌跡 圓明山 萬福寺	0:04:59
		4	弘法大師の軌跡 龍王山 黒滝寺	0:13:06
		5	弘法大師の軌跡 太龍寺	0:07:30
		6	弘法大師の軌跡 弘法大師のミステリー1	0:09:47
		7	弘法大師の軌跡 弘法大師のミステリー2	0:09:30
		8	農村舞台とは	0:03:36
		9	農村舞台の紹介	0:14:51
		10	阿波人形浄瑠璃について	0:04:06
		11	農村舞台の新たな活用	0:05:28
		12	アクティビティ1 一本乗り	0:09:31
		13	ミツマタの概要	0:04:02
		14	ミツマタの育成から収穫まで	0:10:02
		15	ミツマタの加工と利用方法	0:11:39
		16	紙漉き	0:08:36
		17	太布織り	0:08:00
	アクティビティ1	特典	特典映像 一本乗り	0:09:20
	弘法大師	特典	特典映像 水崎廻り	0:10:37
第3章	徳島県那賀町の仕事	1	徳島県那賀町の農業について	0:01:32
		2	ゆずの育成 1	0:13:56
		3	ゆずの育成 2	0:12:16
		4	ゆずの加工	0:06:00
		5	ケイトウ	0:09:44
		6	晩茶	0:04:53
		7	徳島県那賀町の林業について	0:01:52
		8	山での仕事 1	0:06:32
		9	山での仕事 2	0:08:47
		10	木材の活用について	0:10:00
第4章	徳島県那賀町のアクティビティ	1	徳島県那賀町のアクティビティについて	0:01:33
		2	SUPとは	0:02:47
		3	準備体操	0:05:27

	アクティビティ 1	4	SUP の漕ぎ方	0:14:58
	アクティビティ 1	5	那賀町で体験できるカヌー	0:05:34
	アクティビティ 1	6	カヌーの魅力	0:07:34
	アクティビティ 2	7	那賀町とドローンについて	0:04:30
	アクティビティ 2	8	航空法とドローンの基本操作	0:09:23
	アクティビティ 2	9	ドローンの楽しみ方：初心者コース	0:09:47
	アクティビティ 2	10	ドローンの楽しみ方：上級者コース	0:10:03
	アクティビティ 2	11	ドローンを活用した今後の取り組み	0:02:13
	アクティビティ 2	特典	乗馬	0:09:50
	アクティビティ 2	特典	ドローンから見た那賀町の山々	0:13:30
	アクティビティ 2	特典	ドローンから見た那賀町の水辺	0:15:00
	アクティビティ 2	特典	特典映像：ドローンマップで実際のポイントを確認 1	0:14:38
	アクティビティ 2	特典	特典映像：ドローンマップで実際のポイントを確認 2	0:14:46
第 5 章	<b>徳島県那賀町の食</b>	1	徳島県那賀町のゆずについて	0:01:12
	食	2	ゆず料理のレシピ 1 かき混ぜ	0:05:32
	食	3	ゆず料理のレシピ 2 軽食（ピザ、ディップなど）	0:10:00
	食	4	ゆず料理のレシピ 3 パスタ	0:06:00
	食	5	ゆず料理のレシピ 4 柚味噌	0:06:00
	食	6	ゆず料理のレシピ 5 ブルスケッタ	0:07:00
	食	7	徳島県那賀町ジビエについて	0:05:00
	食	8	ジビエ料理のレシピ 1 カレーライス	0:09:24
	食	9	ジビエ料理のレシピ 2 そうめん	0:09:51
	食	10	ジビエ料理のレシピ 3 ヒレ肉料理	0:08:22
	食	11	ジビエ料理のレシピ 4 竜田揚げ	0:07:40
	食	12	ジビエ料理のレシピ 5 コロッケ	0:09:20
	食	13	講座の結びに	0:01:48
PV				0:04:30

### 3. 現地取材・撮影

那賀町の伝統文化に関することなど、学識経験者のアドバイスを得て、学術的な正確性に留意した。また、確認テストは、四国大学の協力を得て作成した。

各講座には、町民をはじめ各テーマの関係者にインタビュー対応や講義形式でお話いただいた。

#### 講座に出演いただいた方々（抜粋）



講師：坂口 博文 さかぐち ひろふみ

那賀町長  
旧日和佐高校卒。1968年に旧木沢村職員となり、参事兼産業建設課長、那賀町助役、副町長などを務めた。前町長の辞職に伴う07年の出直し町長選で初当選し、現在3期目。



須藤 茂樹 すどう しげき

四国大学 文学部 日本文学科 教授  
専門は日本中世史(特に戦国史)。博物館では仕事柄、近世史・美術史を担当。大学では日本文化史、日本美術史、博物館学などを担当。

文化財や歴史、文化を活かした町づくりを提案。落語好きが高じて徳島で江戸落語を楽しむ会を主催、地域と協力して落語会を開催、地域を元気にする取り組みに尽力する。



マーク・グレアム・フェネリー

Mark Graham Fennelly

四国大学 文学部 国際文化学科 准教授  
専門は小学校英語教育。大学では小学校英語、国際理解・国際関係、英語コミュニケーションなどを担当。

JET計画により徳島県那賀郡木頭村・木沢村に赴任しその時に「木頭杉一本乗り」を知る。現在は名人として杉炬保存会に所属。また、徳島県タッチラグビー協会副会長として、2021年ワールドマスターズゲーム開催に向け尽力している。イギリス出身。



三馬 正敏 さんま まさとし

徳島県カヌー協会 理事長  
徳島県那賀町出身。高校からカヌーを始め、2008年の北京オリンピックにカヌースラロームカナディアンペア種目出場し9位。

その後2017年に徳島県三好市で行われたラフティング世界選手権のマスターズクラスで総合優勝。2019年のオーストラリア大会でも優勝し2連覇を達成。週末には那賀川や吉野川でバドルススポーツを楽しんでいる。



平井 滋 ひらい しげる

NPO法人ささわかラブ 理事長

ナカ奥(木沢地区)を中心に那賀町の活性化につながる活動の企画・運営を行う「NPO法人ささわかラブ」の理事長を務め、剣山スーパー林道の宿泊施設ファガスの森「高城」と山の家「奥槍戸」の管理を行う。西日本第2位の高峰「剣山」に通なる那賀町の山々を知り尽くす山の案内人で、アマチュア写真家としても活躍中。地下足袋を愛用する姿から「地下足袋王子」の愛称で、多くのみなさんと親交を深めている。

(ファガスの森高城HP)<https://ffagus.net>



亀井 廣吉 かめい ひろきち

木沢林業研究会 会長

家業の林業を引き継いで40数年、主にスギの無皆伐施業に取り組む。30年程前からスギ、ヒノキばかりの一斉林に不安を感じ、ケヤキを中心とした広葉樹造林・里山作りに方向転換。

近年のシカの食害対策に悩んでいる時、ミツマタはシカの食害を受けないことを知り、研究会の仲間とミツマタの造林・加工に取り組んでいる。将来は、那賀町を1万円札の原料ミツマタの日本一の生産地にしたい。



榎野 瑞恵 さかきの みずえ

有限会社柚冬庵 代表取締役

1981年に木頭ゆず栽培農家に嫁ぐ。2006年には、有限会社柚冬庵の代表取締役に就任。2010年に第19回食アメリティコンテスト農林水産省農産振興局長賞を受賞。2013年に柚冬庵カフェ「くるく」を開設。2014年に木頭ゆずクラスター協議会を設立し、会長に就任。2016年に農山漁村女性シニア活動表彰の農林水産大臣賞を受賞。2018年には、木頭ゆず特産品マイスターに認定される。



西浦 輝昭 にしうら てるあき

相生晩茶振興会 会長

幼少の頃から家業として晩茶の生産を手伝っていたが、本格的に取り組むようになったのは定年後の60歳を過ぎてから。当初、1.5アールだった畑を2.5アールに拡張して生産量を2倍にするなど、晩茶の生産を積極的に進めている。2020年1月より相生晩茶振興会 会長に就任。近年、経験者が減り茶葉の刈り取り時や蒸し上げ時に、人手が集まらないのが悩み。これからの晩茶の生産のためにも若手育成を進めたいと考えている。



関係者打ち合わせ  
インタビュー収録、現地撮影



取材・撮影準備







#### 4. 受講生の募集

eラーニング講座の募集開始の告知は、gacco ウェブサイト・トップページ、SNS 公式アカウント (Facebook, Twitter)、プレスリリース (郵送 82 件、電子メール 47 件、電子プレス 1 サイト) にて実施した。また、広報リーフレットを製作し、町内外各所で配布するとともに、那賀町ウェブサイトにおいても告知ページを設けた。

さらに、gacco 受講者向け (全員及び類似講座受講者) のメールマガジン配信を複数回実施した。

令和 2 年 1 月 23 日に募集を開始し、3 月末段階の受講登録者数は、774 人となっている。

gacco トップページの告知バナー



**那賀町**  
Naka-cho

[トップページ](#) | [那賀町](#) | [那賀町役場](#) | [那賀町観光](#) | [那賀町産業](#) | [那賀町観光協会](#) | [那賀町観光大使](#) | [那賀町観光大使](#) | [那賀町観光大使](#)

**講座名**  
なかなかいいなか  
きてみんで徳島県那賀町

**開講日**  
2020年5月12日(火)

**講座時間**  
約1~2時間 / 週

**標準学習期間** 5週間

▶ 受講登録はこちら

なかなかいいなか  
きてみんで徳島県那賀町

徳島県那賀町の住民が中心となって講師を務めているオンライン講座です。観光資源や産業、伝統文化など5つのテーマで、一般的な観光情報では得られないディープな知識をご紹介します。

**講座内容**

すぐに内容がわかる動画はこちら

那賀町は、徳島県南部に位置し徳島県庁から車で1時間半ほどの場所にある人口約8,200人の小さな町です。

北部には険しい山岳地、南部には海防山脈といった標高1,000メートル以上の山々に囲まれており、地帯内には那賀川及び那賀川が流れる豊かな自然環境です。

伝統的ゆかりの由緒あるおみやげ、町民が大切に受け継いでいる農村景観など、素晴らしい伝統文化が息づいている町でもあります。

暮らしが自然とのつながり大切にしながらも、近年は、町の主要産業である産業や林業へのIT導入の推進や、新たな文化として推進されているSDP（スマートアップ・ドローン・ドローン・ドローン）やドローンなどのテクノロジーを活用した産業を通じて新しい産業の創出も進んでいます。

ふるさと、そんな町民たちの町を少しでも多くの方に知っていただきたいと思います。オンライン講座でも開催しました。

この講座では、「自然」「伝統文化」「産業」「アタラクシヤ」「食」という切り口で、那賀町の魅力の一部をご紹介できればと思っています。

那賀町では、現地で体験イベントも定期的に開催しておりますので、ぜひご参加ください。

那賀町ホームページ  
<http://www.town.nakagawa-tokushima.jp/>

**“田舎の魅力”を実際に体験できます！**

講座内で紹介した内容に関連した現地体験イベントも開催予定です。参加者には地元産の新鮮な野菜や特産品を無料配布。さまざまな那賀町の魅力を体感したこともあった方も、是非この機会にこれまで知らなかった“田舎の魅力”を体験してください。

◀ 現地体験イベントに参加の方には、那賀町の新鮮なお土産品のプレゼントもご用意しています。

現地体験  
イベントも  
開催！

✔ 前項条件

特になし。

📖 講座内容

希望のコース（選択式）を選択します。  
・選択式課題20問

👤 終了条件

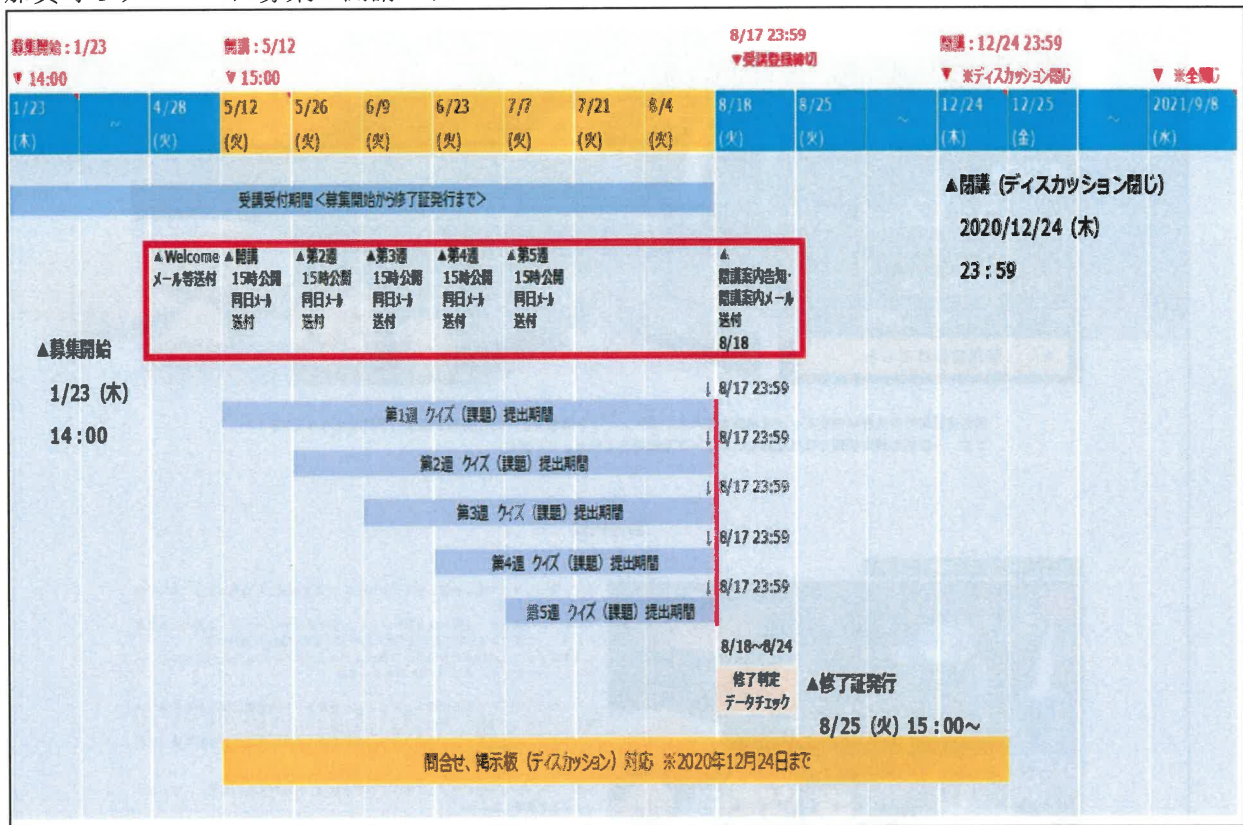
合格率80%以上

📄 参考資料

・『本町の観光ガイド』  
徳島大学 観光学研究所 (編) / 徳島県観光協会 2017

9

那賀町 e ラーニング募集・開講スケジュール



□ 新聞掲載例 (徳島新聞)

2020年(令和2年)2月15日 土曜日 地域・NIE (20)

# 那賀町ネット講座 受講生募集始まる

農村舞台や木頭ゆずなど、那賀町の魅力を映像で学んでもらうために町が5月に開講するインターネットでの「eラーニング講座」の受講生募集が始まった。5月12日から9月上旬まで、ドコモgacco(東京)が運営するサイトで配信する。観光や移住先として町に関心を寄せてもらおうのが狙い。

講座は①那賀町の自然 ②伝統文化③仕事④アーク ティレティー⑤食の全5章。講師は、山間部にあるレストハウスの管理人や相生晩茶の生産者ら約20人が務める。

5月12日から2週間おきに1章ずつ、各章9〜20本の動画計66本(各5〜10分)を配信する。8月17日までに受講登録すれば、9月8日まで見ることが出来る。

映像で学んだ後は、四国大の須藤茂樹教授(日本中世史)らが作ったクイズに答える。全章で60

## 映像で魅力学ぶ

### 希望者に現地体験も

来町を希望する人には、川口ダム湖でのSUP(スタンド・アップ・パドルボード)体験や山岳ツアーなどの現地体験イベントを用意する。参加者には、那賀高校森林クリエイト科の生徒がレーザー加工機で作る木版の認定証が贈られる。

講座は2021年度も開講する予定で、撮った映像は町のPR動画に活用する。

登録はgacco(ガッコ)のホームページから。問い合わせは、町まち・ひと・しごと戦略課(電0884(62)1184)。(大城咲)

点以上を取ると、講座の修了証がもらえる。クイズには何度でも挑戦できる。

□ 広報リーフレット



昨日まで知らなかった田舎の町が、ちょっと気になってくるeラーニング講座。



# なかなかいいいなか

—— きてみんなで徳島県那賀町 ——

**2020年5月12日開講**

**受講無料** ※2020年1月23日より受講登録開始

本講座は観光や移住先として徳島県那賀町に興味を持っていただくことを目的に、町内にある観光資源や産業、伝統文化などを5つの章に分けて解説していきます。那賀町による全面バックアップのもと、実際に各分野に携わっている現地の住民が中心となって講師を勤め、一般的な観光情報では得られないディープな知識を身につけることができます。

#### 受講の流れ

講座はMOOC®のプラットフォーム「gacco」を通じて提供。まずはgaccoのサイトにアクセスし、受講登録を行ってください。

- 各講座は5月12日の第1部より随時公開されます。
- 所定の基準を満たすと修了証(PDF)が発行されます。

#### 那賀町はココ!

徳島県の南部に位置する那賀町は、徳島市内から車で約1時間半。昔ながらの文化や産業が今も残り、自然と人がかゆったりと共存している町です。



**gacco**  
The Japan MOOC



<https://gacco.org/nakacho/>



**第1章 那賀町の自然**  
●山岳 ●ダム

**第2章 那賀町の伝統文化**  
●弘法大師の軌跡 ●農村舞台  
●一本乗り ●ミツマタ・太布織り

**第3章 那賀町の仕事**  
●農業(ゆず・ケイトウ・晩茶) ●林業

**第4章 那賀町のアクティビティ**  
●SUP ●カヌー ●ドローン

**第5章 那賀町の食**  
●ゆず料理 ●ジビエ料理

**現地体験イベント続々開催!**

那賀町のことをより知っていただくために、那賀町では【山岳】【ダム】【ゆず】【林業】(各11月)、【SUP】(7~8月)のジャンルでそれぞれの楽しみを現地で直接体験していただけるイベントを実施します。他にも2020年2月16日まで限定で、那賀町内の店舗を回ってカードを集め、ヒントをもとに宝箱を探せば豪華賞品がGETできる『スマート回廊カードラリー』も開催中です。各イベントの詳細な参加方法や日程などは、那賀町まち・ひと・しごと戦略課(TEL.0884-62-1184)までお問い合わせください。



◀現地体験イベントにお越しの方には、那賀町の素敵なお土産品のプレゼントもご用意しています。

お問い合わせ先/那賀町まち・ひと・しごと戦略課

〒771-5295 徳島県那賀郡那賀町和食郷字南川104-1 TEL.0884-62-1184 FAX.0884-62-1177  
MAIL senryaku@naka.i-tokushima.jp HP <http://www.town.tokushima-naka.lg.jp/iju/>



□ 那賀町ウェブサイトの告知ページ

イイ那賀暮らし
那賀町の紹介
那賀町で子育て
ナカの仕事
住まい
インタビュー
🔍

なかなかいいいなか eラーニング講座はじめます
2020年1月23日

## eラーニング講座を開設します!!!

### <なかなかいいいなか ~きてみんで那賀町~ >

ながちよう  
徳島県那賀町(町長 坂口浩文/以下、那賀町)

株式会社ドコモgacco(代表取締役社長 嶋本由紀子/以下、ドコモgacco)

株式会社NTTドコモ徳島支社(執行役員 西原友美 三ヶ尻 哲也/以下、ドコモ)

3社は、観光や移住先として那賀町に興味を持っていただくことを目的にしたeラーニング講座「**なかなかいいいなか きてみんで徳島県那賀町**」(以下、本講座)を**2020年5月12日(火)**に開講することとし、**2020年1月23日(木)**より受講者募集を開始します。



本講座は、ドコモgaccoが運営するオンライン・プラットフォーム「gacco(ガッコ)」を活用し、IT環境があれば誰でもどこでも無料で学習可能です。



那賀町は、徳島県の南部に位置する森林が約95%を占める小さな町です。課題は人口減少で、1980年代に約14,300人だった人口は年々減少し、現在は約8,300人になっています。

那賀町では、移住情報発信サイト「**イイ那賀暮らし**」の開設、移住者支援制度の充実など、町全体で移住者の受け入れ体制を整備し、

#### 平成29年度からの3年間で18世帯の方を受け入れました。

本講座は、移住検討者だけでなく何となく田舎に興味のある皆さまに那賀町の魅力を動画やクイズ形式で楽しみながら知っていただくもので、町内のジビエ料理や名産 はんごろし、SUP体験、ドローンについて、また農村舞台で開催される人形浄瑠璃などを五つの章に分けて紹介します。講師は実際に各分野に携わっている那賀町現地の住民が中心となって担当し、一般的な観光情報では得られないディープな知識を身に付けることができます。

[なかなかいいいなか.pdf \(PDF 12.6MB\)](#)

カテゴリー [暮らし](#) [ピックアップコーナー](#)

お問い合わせ

まち・ひと・しごと戦略課 ドローン推進室  
電話: 0894-82-1184 E-Mail: [ganryu@naka.lg.tokushima.jp](mailto:ganryu@naka.lg.tokushima.jp)

<http://www.town.tokushima-naka.lg.jp/iju/docs/724319.html>

## 検証資料2

### 地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告 (各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

本事業における重要業績評価指標	本事業開始時 (H26)	目標年 (R3.3)	本事業終了時 (R3.3)	実績 (R2.3)
とくしまブランド推進機構が関与した5年間の総販売額	1億	30億	30億	9月頃判明
農林水産物等輸出金額の5年間の総増加額	3.3億	12.1億	12.1億	10.3億増額
TurnTableの5年間の総増加額	0億	2.0億	2.0億	2.1億円
那賀町独自目標 新規農業者数	(H26) 新規農業者8人	(R1) 5年間で5人増	(R1) 5年間で5人増	5年間で8人増
那賀町独自目標 認定農業者数	(H26) 認定農業者30人	(R1) 5年間で新規5人増	(R1) 5年間で新規5人増	5年間で19人増

交付対象事業の名称	実績額		外部有識者からの評価	
	単位:円	内交付金	総合戦略KPI達成 への効果	外部有識者からの意見
1 もうかる農林水産業の実現に向けた「とくしまブランド」戦略 ●「ブランドギャラリー」を活用した観光PRや物産展の開催、移住定住相談等の連携事業の実施 ●ブランド推進機構と連携したマーケットイン型の商品開発や産地育成と産学金官連携による新技術や新品种、新商品の開発支援と販路開拓支援 ●技術者や次代の農林水産業の担い手の確保 ●県と連携した県産品の国内販路開拓や輸出拡大に向けた海外商品への出展支援	1,000,000	500,000	無 1 2 3 4 5 有	・KPIが「新規就農者」と「認定就農者」となっているが、交付対象事業と結びついていない気がする。担い手の育成というのは難しい課題であるが、もう少し直結した事業に取り組んでいただきたい。 ・大学や学校との連携でゆずの収穫等を行っているのはいいことだが、「人とサル共生プロジェクト」という名称は微妙だと思う。 ・クラスター協議会の企業間連携が弱いのが課題である。連携しやすい環境づくりに努めてほしい。
合 計	1,000,000	500,000		



【名称】 もうかる農林水産業の実現に向けた  
「とくしまブランド」戦略

【事業主体】 木頭ゆずクラスター協議会

【総事業費】 1,000,000 円

うち、地方創生推進交付金 500,000 円

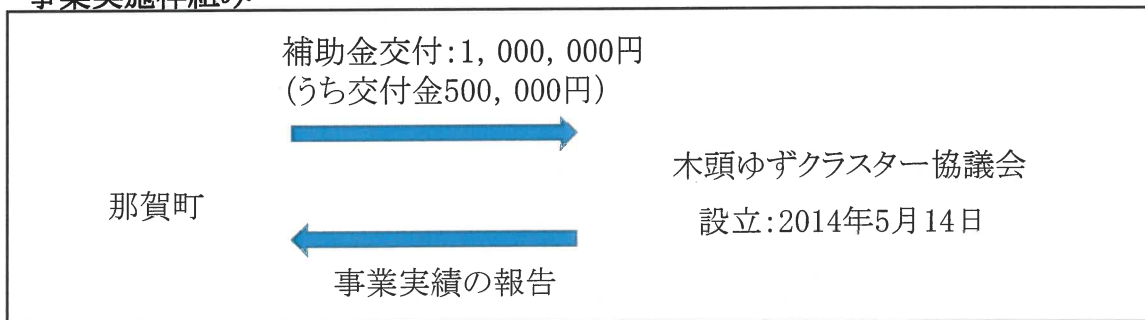
地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告  
(令和元年度事業実施分)

那賀町役場 農業振興課

交付対象事業の名称

- ・ 「ブランドギャラリー」を活用した観光PRや物産展の開催、移住定住相談等の連携事業の実施
- ・ ブランド推進機構と連携したマーケットイン型の商品開発や産地育成と産学金官連携による新技術や新品種、新商品の開発支援と販路開拓支援
- ・ 技術者や次代の農林水産業の担い手の確保
- ・ 県と連携した県産品の国内販路開拓や輸出拡大に向けた海外商品への出展支援

事業実施枠組み



木頭ゆずクラスター協議会概要

目的:木頭ゆずの6次産業化や輸出などの取組を促進し、地域農業の活性化を図る。

構成員:阿南農業協同組合、株式会社黄金の村等、町内企業6社

株式会社市岡製菓等、町外企業3社

那賀町、徳島県、地域おこし協力隊、若手生産者グループ、木頭果樹研究会

活動内容

- ・ 木頭ゆずの6次産業化や輸出を推進し、更なるブランド化を図る。
- ・ 企業間の連携により、販路拡大を図る
- ・ 鳥獣被害や担い手対策などの地域課題対策に取り組む
- ・ 新たな品目や技術の検討を行う

選定理由

- ・ 民間企業、行政、生産者団体等で組織されており、構成員の多様性を担保
- ・ 六次産業化等の分野での活動実績

## 事業実績

- ・ 徳島県、とくしま六次産業化推進連携協議会、イオン等との連携による国内の販路開拓支援

### 「第16回こだわり商品展示会」

会期:R1.7.22

場所:東京都「丸ビル」

出展企業:2社

100以上のメーカーより全国各地のこだわり商品を集めた展示商談会。百貨店やスーパーなどのバイヤーを招集。



### 「アグリフードEXPO東京2019」

会期:R1.8.20～22

場所:東京都「東京ビッグサイト」

出展企業:2社

国内最大級の展示商談会。主は国産農産物業者で、全国各地から食品メーカー事業者等を招集。



### 「第8回中国・四国イオン会合同見本市」

会期:R1.9.4～5

場所:岡山県「コンベックス岡山」

出展企業:1社

イオン主催の展示商談会。中国、四国地区イオングループ企業関係者等を招集。



### 「スーパーマーケットトレードショー2020」

会期:R2.2.12～14

場所:千葉県「幕張メッセ」

出展企業:3社

国内最大級の展示商談会。スーパーや中小企業、百貨店など幅広い事業者を招集。



- 輸出拡大に向けた出展支援

「ANUGA2019見本市及びとくしま食材サロン会」

会期:R1.10.4~9

場所:ドイツ(ケルン、フランクフルト)

世界各国から輸入、輸出業者、バイヤー、シェフ、一般の方等が参加。青果、柚酢を出展し、試飲をとおしてPRと商談を実施。



ミシュラン三ツ星などドイツで活躍しているシェフ40名ほどを招集。木頭ゆずを使用した料理をとおして産地を含めたPR及び商談を実施。



「パリ農業祭2020」

会期:R2.2.20~24

場所:フランス(パリ)

EU圏内、最大級の農業の祭典。パリ近郊農場経営者との共同で新商品「木頭ゆずマスタード」の商品開発を行い、消費者、バイヤー等にPR、商談等を実施。



- ・ 学園との連携による次代の担い手育成及び物産展の開催(産地・観光・木頭ゆずのPR等を含む)

「木頭学園中四国へき地研究大会」

会期:R1.11.1

場所:木頭学園

参加者:企業4社、学生 他

木頭学園中四国へき地研究大会開催時に来賓された方々へ、学生を交えての木頭ゆずのPR及び物販等を実施。



「木頭ゆずPR作戦(木頭のゆずっちゃんぞ)」

会期:R1.12.22

場所:徳島市「イオンモール徳島」

参加者:企業4社、木頭学園7年生、教員 他

木頭学園7年生生徒の考案したスタイルでの木頭ゆずの青果、加工品等の物販及び産地、観光のPR等を実施。



- 技術者や次代の農林水産業の担い手の確保

「農の里「木頭ゆず」産地担い手確保研修会」

開催:R1.9.24

場所:木頭文化会館

参加者:若手生産者、町内6次化企業 他

「加茂谷元気なまちづくり会」会長等を講師として招待し、次代の生産者、6次化事業者等が自ら主体となり、担い手確保や育成、移住定住等を図ることを目的とした研修を開催。



「岡山県美作市視察研修会」

開催:R1.10.8

場所:海川工場・那賀町役場木頭支所 他

参加者:企業2社、木頭果樹研究会 他

岡山県美作市の生産者、農協、市職員等の視察の受入を実施。現地視察や意見交換会などをおして、栽培技術や担い手問題、販路拡大などの情報交換や交流を図った。



## 「木頭ゆずローカルベンチャー育成研修会」

開催: R2.2.26

場所: 那賀町役場木頭支所

参加者: 若手生産者、企業4社、他

株式会社 農家ソムリエーズ 代表取締役を招待し、6次化、ローカルベンチャー等を主題とした研修会を開催



- 大学等との連携による次代の担い手確保及び新商品の開発、販路開拓等(産地・木頭ゆずのPR等含む)

第6回人とサル共生プロジェクト

開催: R1.12.6～8

場所: 木頭文化会館 他

参加者: 四国大学生、小松島西高等学校生、ビザン大学、木頭学園 他

木頭ゆずの歴史、様々な現状問題等を学習。収穫から始まり自身達で考案した、ゆず加工品の試作、コンビニでの販売等まで擬似的な六次産業化体験等を実施。



## 事業実施による主な成果

### 国内販路拡大の成果等

前年度と比較して、那賀町内企業(阿南農業協同組合、(株)黄金の村、(株)きとうむら、(有)柚冬庵)の4社で新規取引先件数が増加した。  
収益は増加した企業、減少した企業あり。  
(聞き取り等調査)



販路拡大については、商談展示会等による「木頭ゆず」のPR効果、企業の努力による新規契約等が要因。  
収益の減少した企業に関しては、新型コロナウイルス等の影響があったとのこと。

### 輸出の販路拡大成果等

輸出については青果の出荷量になるが、新たにEU圏等で取引先が増加した。  
前年度対比で、出荷量135%、販売金額134%と増加(青果)  
加工品等については1社が増加と2社が前年度並み(聞き取り等調査)



国内販路同様に商談展示会等による「木頭ゆず」のPR効果、企業の努力による新規契約等が要因。

### 担い手の確保・育成等

今年度、協議会実施事業をとおしての直接的な担い手の確保にはいたらなかった。



行政だけではなく、6次化企業や生産者自らが主体となり、担い手の確保を図っていくことも視野に入れた研修会を実施済み  
学園等との連携による収穫体験から販売体験にいたるまでの事業展開を実施済み



次代の生産者や関係者となることに期待

### 課題と展望

課題①ゆず青果や原料など安定的な生産量の確保(担い手の確保等)



その他事業や団体等と連携も含め、事業の考案、また担い手の確保・育成の取組を継続していく

課題②国内外での更なる販路の拡大



GI認証等を活用し、国内外の展示商談会等にて効果的なプロモーションを実施していく





様式第1号(第4条、第11条関係)

木ゆず協第16号  
令和2年3月31日

那賀町長 坂口 博文 様

木頭ゆずクラスタ  
会長 神代 晃海



令和元年度那賀町農業関係協議会等補助金実績報告書

令和元年6月27日付け那賀町指令第217号により補助金交付決定通知のあったこの事業について、下記のとおり実施したので、那賀町農林水産業等振興事業費補助金交付規則第11条の規定により、その実績を報告します。

記

1 事業の目的

木頭ゆずの6次産業化や輸出などの新たな取り組みを促進し、地域農業の活性化を図る。

2 事業の内容及び経費の配分

(1) 経費の配分

事 項	総 事 業 費	負 担 区 分		備 考
		補 助 金	そ の 他	
事 業 費	円 2,587,892	円 1,000,000	円 1,587,892	
計	2,587,892	1,000,000	1,587,892	

3 事業完了年月日

令和2年3月31日

4 収支精算書

(1) 収入の部

区 分	予 算 額	(精 算 額)	比 較		備 考
			増	減	
補 助 金	1,000,000円	1,000,000円	円	円	
そ の 他	1,185,000円	1,587,892円	402,892		
計	2,185,000円	2,587,892円	402,892		

(2) 支出の部

区 分	予 算 額	(精 算 額)	比 較		備 考
			増	減	
事 業 費	2,185,000円	2,561,098円	円 376,098	円 0	
計	2,185,000円	2,561,098円	376,098	0	

5 添付書類

(1) 事業報告資料、収支決算資料

2 事業実績

事業区分		事業の内容				工期		経費の配分			備考	
大区分	小区分	事業種目	事業細目	事業主体	実施箇所	事業費	着手 年月日	完了 年月日	総事業費	補助金		負担区分 その他
那賀町 農林水 産等事 業振興 補助金	那賀町 農林水 産等事 業振興 補助金	那賀町 農林水 産等事 業振興 補助金		木頭ゆ ずクラー スター 協議会	那賀町 内外	2,587,892	平成 31年 4月 1日	令和 2年 3月 31日	円 2,587,892	円 1,000,000	円 1,587,892	
合計						2,587,892			2,587,892	1,000,000	1,587,892	

注1 山村振興等農林漁業特別対策事業にあっては、「事業の内容」欄の「事業種目」、「事業細目」及び「事業費」には、「事業区分」事業の内容欄は年度別実施計画書に基づいて記載すること。

なお、同欄の「事業主体」及び「施行箇所又は設置場所」には、具体的な固有名称を記載すること。

2 「工期」欄には、交付申請書にあっては、着工及び竣工年月日を、実績報告書にあっては、実際の着工及び竣工年月日を明記すること。

## 令和元年度 木頭ゆずクラスター協議会事業報告

### 〈活動テーマ〉

- ①就農誘致の加速化：ビジネスモデルの創出、起業化に向けた人材育成等
- ②販売力強化：GIマークの活用、商談会でのPR、既存商品のブラッシュアップ等
- ③地域課題対策等：学校や企業との連携による取組、栽培技術向上などによる生産力の強化等

実施時期	内 容	場 所
令和元年6月5日	第1回役員会	那賀町役場 木頭支所
令和元年6月26日	通常総会 平成30年度事業・収支決算報告について 令和元年度事業・収支予算計画（案）について	那賀町木頭和無田 「木頭文化会館」
令和元年7月22日	第16回こだわり商品展示会出展 株式会社 五味商店主催。バイヤーへの木頭ゆずのPR及び商談を実施。 参加：事務局長、徳島県、黄金の村、阿南農協	東京都千代田区 丸ビル
令和元年8月20日～22日	アグリフードEXPO東京2019 全国のバイヤー等と6次化商品等のPR及び商談を実施。 参加：事務局、徳島県、(株)KITO YUZU (株)黄金の村)、阿南農協、地域おこし協力隊	東京都江東区 東京ビッグサイト
令和元年9月4日～5日	第8回中国・四国イオン会合同見本市（木頭ゆず食文化振興協議会と合同） イオン系列の関係者を招いての「木頭ゆず」のPR展示及び商談を実施。 参加：事務局、阿南農協、地域おこし協力隊	岡山県岡山市 コンベックス岡山
令和元年9月24日	農の里「木頭ゆず」産地担い手確保研修会 加茂谷元気なまちづくり会、会長と事務局長を講師に招待し、次代の生産者、6次化事業者自らが主体となり、担い手の確保育成を目的とした研修を実施。 参加：会員各社、チーム木頭ゆず、木頭果樹研究会、地域おこし協力隊、那賀町、徳島県、徳島新聞、事務局等	那賀町木頭和無田 「木頭文化会館」
令和元年10月4日～9日	ANUGA2019見本市及びとくしま食材サロン会 展示会での木頭ゆず青果・加工品のPR及び商談を実施。またサロン会で木頭ゆずを使った料理でのPRを実施。 参加：阿南農協、チーム木頭ゆず	ドイツ（ケルン、フランクフルト）
令和元年10月8日	岡山県美作市視察研修会 岡山県美作市の県及び町職員、農協、生産者の視察を受け入れ、現地視察や意見交換等、交流を実施。 参加：事務局、徳島県、阿南農協、柚冬庵、木頭果樹研究会	那賀町木頭 海川工場～木頭西宇 那賀町木頭支所

令和元年11月1日	<p>木頭学園中四国へき地研究大会、木頭ゆずPR及び物販等</p> <p>木頭学園中四国へき地研究大会の来客へ、学生を交えた物販及びPRを実施。</p> <p>参加：事務局、地域おこし協力隊、きとうむら、黄金の村、柚冬庵、阿南農協、学園生徒</p>	那賀町木頭和無田
令和元年12月6日～8日	<p>第6回人とサル共生プロジェクト</p> <p>四国大学学生等を招待し、鳥獣被害や木頭ゆずの歴史、様々な現状問題を学習、簡易的な六次産業化体験等実施。</p> <p>参加者：四国大学、小松島西高校、ビザン大学、木頭学園町内住民、事務局、町職員、徳島県、地域おこし協力隊</p>	那賀町木頭助～北川 「木頭文化会館」
令和元年12月22日	<p>木頭ゆずPR作戦「木頭のゆずっちゃんぞ」</p> <p>木頭学園7年生を主体として、青果、加工品のPR及び物販を実施。</p> <p>参加者：阿南農協、きとうむら、黄金の村、柚冬庵、事務局、地域おこし協力隊、木頭学園7年生、木頭学園先生、その他</p>	徳島県徳島市 イオンモール徳島
令和2年2月12日～14日	<p>スーパーマーケットトレードショー2020</p> <p>量販店バイヤーを中心に木頭ゆずの六次化商品をPR及び商談を実施。</p> <p>参加：(有)柚冬庵、(株)黄金の村、(株)きとうむら、事務局、徳島県、地域おこし協力隊</p>	千葉県千葉市 幕張メッセ
令和2年2月20日～24日	<p>パリ農業際2020</p> <p>フランス最大級の農業の祭典、パリ農業際に出展。木頭ゆずを使った新商品開発及びPRと商談を実施。</p> <p>参加者：黄金の村</p>	フランス(パリ)
令和2年2月26日	<p>「木頭ゆず」ローカルベンチャー育成研修会</p> <p>株式会社 農家ソムリエーズ 代表取締役藤原氏を招待し、6次化、ローカルベンチャーを主題とした研修会を実施。</p> <p>参加者：チーム木頭ゆず、阿南農協、きとうむら、黄金の村、事務局、徳島県</p>	那賀町役場 木頭支所
令和2年3月10日～13日	<p>FOODEX JAPAN2020</p> <p>新型コロナウイルスの影響により中止。</p>	千葉県千葉市 幕張メッセ

令和元年度 木頭ゆずクラスター協議会収支決算書

収入金額 2,587,892円

支出金額 2,561,098円

差引金額 26,794円

※26,794円は令和2年度に繰り越す。

○収入の部

区 分	内 容	金額(円)
1. 補助金	町単補助	1,000,000
2. 負担金	木頭ゆずクラスター協議会負担金(徳島県)	1,000,000
3. 事業収入	とくしま六次産業化推進連携協議会負担金	104,000
	人とサル共生プロジェクト事業負担金(四国大学)	96,000
	木頭ゆずPR作戦「木頭のゆずっっちゃこんなんぞ」釣銭戻金	137,500
	FOODEX JAPAN2020 出展料戻金	170,000
4. 繰越金	平成30年度繰越金	80,387
5. 雑収入	貯金利息	5
合 計		2,587,892

○支出の部

経費区分	内 容	金額(円)
1. 運営費	①総会費	1,440
2. 事業費		2,559,658
地域課題対策費		307,839
	①木頭ゆずPR作戦「木頭のゆずっっちゃこんなんぞ」事業費	191,727
	②木頭ゆず成分分析事業費	17,702
	③第6回人とサル共生プロジェクト事業費(四国大学負担金分)	96,000
	④振込手数料	2,410
販売力強化費		2,088,607
	①アグリフードEXPO東京2019出展事業費	118,858
	②ANUGA2019見本市及びとくしま食材サロン会事業費	200,000
	③木頭学園中四国へき地研究大会、木頭ゆずPR及び物販等事業費	12,850
	④スーパーマーケットトレードショー2020出展事業費	315,350
	⑤FOODEX JAPAN 2020出展事業費	206,200
	⑥とくしま六次産業化推進連携協議会負担金	750,000
	⑦パリ農業際2020出展事業費	301,296
	⑧展示商談会用消耗品等購入費	91,407
	⑨木頭ゆずPR用(ゆずロード)製本代等	80,130
	⑩振込手数料	12,516

就農誘致加速化費		163,212
	①第6回人とサル共生プロジェクト事業費	134,142
	②「木頭ゆず」ローカルベンチャー育成研修会事業費	26,100
	③振込手数料	2,970
合計		2,561,098

## 別紙

## 補助金別内訳表

○支出の部 \*県負担金については170,000円戻入金有り(実質は1,000,000円の支出)

経費区分	内 容	町単補助(円)	県負担金(円)
1. 運営費	①総会費	1,440	0
2. 事業費		1,389,658	1,170,000
(1) 販売力強化費		1,081,819	1,006,788
	①第14回アグリフードEXPO東京2019出展事業費	118,858	0
	②ANUGA2019見本市及びとくしま食材サロン会事業費	0	200,000
	③木頭学園中四国へき地研究大会・木頭ゆずPR及び物販等事業費	0	12,850
	④スーパーマーケットトレードショー2020出展事業費	210,000	105,350
	⑤FOODEX JAPAN 2020出展事業費	0	206,200
	⑥とくしま六次産業化推進連携協議会負担金	750,000	0
	⑦パリ農業祭2020出展事業費	0	301,296
	⑧展示商談会用消耗品等購入費	0	91,407
	⑨木頭ゆずPR用(ゆずロード)製本代等	0	80,130
	⑩振込手数料	2,961	9,555
(2) 就農誘致加速化費		0	163,212
	①第6回人とサル共生プロジェクト事業費	0	134,142
	②「木頭ゆず」ローカルベンチャー育成研修会事業費	0	26,100
	③振込手数料	0	2,970
(3) 地域課題対策費		307,839	0
	①木頭ゆずPR作戦「木頭のゆずっちゃんなんぞ」事業費	191,727	0
	②木頭ゆず成分分析事業費	17,702	0
	③第6回人とサル共生プロジェクト事業費(四国大学負担金分:¥93,800)	93,800	0
	③振込手数料(うち四国大学負担金分:¥2,200)	4,610	0
合 計		1,391,098	1,170,000



# 検証資料3

## 地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告 (各交付対象事業の重要業績評価指標 (KPI) の実績値等)

本事業における重要業績評価指標	本事業開始時 (H26)	目標年 (R4.3)	本事業終了時 (R2.3)	実績 (R2.3)
5年間の外国人延べ宿泊者の増加人数	6.9万人	8.2万人増	4.8万人増	6.4万人増
農水省GAPガイドライン準拠以上の認定件数	17件	43件増	23件増	8月頃判明
着地型・体験旅行商品による入り込み客数の拡大	1575人	7425人増	3425人増	2043人増
那賀町独自目標 観光入り込み客数(年間)	(H26) 179,000人	200,000人	200,000人	320,000人

交付対象事業の名称	実績額		外部有識者からの評価	
	単位:円	内交付金	総合戦略KPI達成 への効果	外部有識者からの意見
とくしま「スポーツ・レガシー」創造戦略 ●本県の豊かなアウトドアフィールドを活かした観光戦略の策定と推進組織(DMO)の立ち上げ支援 ●インバウンドの受入に向けた観光関連事業者等の啓発・育成 ●本県の豊かなアウトドアフィールドを活かしたスポーツイベントの開催やスポーツ合宿等の受入 ●国際スポーツ大会の開催に向けた機運醸成	2,550,000	1,275,000	無 1 2 3 (4) 5 有	・海外からの観光客(インバウンド)を誘致するには観光協会だけの力では難しい。町と連携し、コロナ時代に合わせた対策が必要になってくる。 ・那賀町は観光資源が豊富にあるにも関わらず、それを活かしてきれていない現状がある。お遍路に頼るのではなく、195号線を活用するなど、観光資源を線で結び、「点」ではなく「線」での観光振興を推進してほしい。 ・ワールドマスターゲームの開催に合わせて、様々なPR活動を展開してほしい。
合計	2,550,000	1,275,000		

【名称】 とくしま「スポーツ・レガシー」創造戦略

【事業主体】 「四国の右下・魅力倍増」推進会議

【総事業費】 2,550,000 円

うち、地方創生推進交付金 1,275,000 円

# 地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告

令和2年6月15日作成

## 1. 事業名

とくしま「スポーツ・レガシー」創造戦略

## 2. 事業の趣旨・目的

- ・本県の豊かなアウトドアフィールドを活かした観光戦略の策定と推進組織(DMO)の運営支援
- ・インバウンド受入に向けた観光関連事業者等の啓発、育成
- ・本県の豊かなアウトドアフィールドを活かしたスポーツイベントの開催やスポーツ合宿等の受入
- ・国際スポーツ大会の開催に向けた機運醸成

## DMOとは？

destination・management・organizationの頭文字の略。

・観光物件、自然、食、芸術、芸能、風習、風俗など地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域づくりを行う法人のことで地域の稼ぐ力を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する観光地経営の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人のこと。(観光庁が規定した日本版DMO)

## 3. 事業の概要

上記の趣旨に沿って目的を達成するため、県南1市4町の観光を推進する組織『四国の右下観光局(DMO)』を、平成30年3月23日に設立。令和元年5月1日から事務局2人体制から6人体制に強化し事業を進め、令和2年1月14日「日本版DMO法人」(地域連携)として登録。

令和元年度末において約70社の正会員を集めた。

## ○四国の右下観光局の取り組み

### (1) 日本版 DMO 本法人登録

「DMO『四国の右下観光局』評価会議」での評価をもとに「日本版 DMO 形成・確立計画」の見直し等を行ったうえで、観光庁に日本版 DMO 法人登録を申請し令和 2 年 1 月 14 日付けで日本版 DMO として登録なった。

### (2) 着地型旅行商品の企画開発・販売促進



DMO の機能を活かし、地域を巻き込んだ観光地域づくりを進めるとともに、旅行商品の開発やマーケティングの強化等を図った。県南の観光スポットや食、アクティビティなど「四国の右下」の強みを国内外に PR し観光誘客を促進するため商談会でのプレゼンテーションに加え旅行会社企画担当向けの FAM ツアーを実施した。台湾旅行会社 FAM ツアーでは、台湾の旅行会社に対し薬王寺、太龍寺・太龍寺ロープウェイ、お松大権現などの観光コンテンツをセールスした。

### (3) 体験型旅行の誘致・受入体制整備、受入実施

インバウンドの受入や体験プログラムの開発、県南の魅力伝えるガイドの養成など観光産業を支える人材の育成を図った。日本版 DMO の役割と必要性について考え持続可能な観光地域づくりを進める研修会や外国人を受け入れるためのおもてなしセミナーを開催した。



### (4) 体験型旅行の誘客強化

地域の事業者等との連携を強化し広域エリアでの体験受入れやインバウンド拡大に向けて、国内外からの誘客促進を図った。教育旅行をはじめ団体旅行による誘客を進めるため国内旅行会社 35 社に対して提案営業を強化した。また、旅行会社 5 社を招聘し体験プログラムや宿泊施設などを実際に確認してもらうことでプラン造成につなげた。県南を訪れる外国人旅行者の周遊を促し滞在型観光を実現するため台湾をはじめ海外での提案営業を強化した。

## 4. 今後の展開

### ①DMO 組織体制の強化

地域連携 DMO として持続可能な観光地域づくりを協力を推進するため、組織体制の強化や観光人材の育成等に取り組む。

### ②観光産業を支える人材の育成

持続可能な観光地域づくりに向けて、インバウンド拡大に向けた魅力ある体験プログラムの開発やガイドの養成、地域ならではの旅行商品の造成などに取り組む観光産業を支える人材を育成する。

### ③体験型旅行の企画、受入体制整備

観光・体験事業者との連携を強化した観光素材を磨き上げや掘り起こしに加え、インバウンドをはじめ旅行者等に対し満足度の高い、地域ならではの旅行商品を提案するとともに、県南の知名度を高めるプロモーションを強化することで県南への観光誘客を促進する。

ア 体験型旅行推進による誘客強化・国内誘客の促進

イ 外国人観光客の誘致促進

ウ 特産品の開発・販売

### ④広域観光の推進

四国の右下観光局が中心となり、県南の魅力ある観光コンテンツを旅行会社等にプロモーションするとともに、SNS 等での情報発信を強化することで、知名度を高め、来訪意欲を促すことで四国の右下にファンを拡大する。

### ⑤旅行会社機能等の確立

第 3 種旅行業に登録し、観光事業者と連携した旅行商品を造成。募集型企画旅行の企画・実施を行う。

## 5. 那賀町での展開

### ① カヌーを活用した体験型旅行のPR

ワールド・マスターズ・ゲームズ2021のカヌー競技招致に関連したスポーツ合宿等の受入を強化する。

### ② 軽量・個包装のお土産品開発

那賀町商工会が進める特産品開発に参画。那賀町に欠けている軽量且つ個包装のお土産品開発を提言・アドバイスする。

### ③ 観光素材の磨き上げに向けたワーキンググループの開催

那賀町内の観光事業者に声をかけ、那賀町内の観光素材を掘り起こすとともに、観光客のニーズに合った見せ方を意識したコマースを展開する。

### ④ 教育旅行受入体制の整備

1 回あたりの消費額が大きい教育旅行を受け入れていくための体制を整える。(教育旅行の受入を推進する)南阿波よくばり体験のような団体のない那賀町と阿南市において、機運の醸成も含めた体制づくりを進める。

## 【参考資料】

- ・令和元年度一般社団法人四国の右下観光局収支決算
- ・令和2年度一般社団法人四国の右下観光局収支予算

2019年度 収支・決算執行状況

(単位:千円)

収入

	2019年度決算額		2019年度予算額 (職員増に係る補正後)		差額 (決算額-予算額)		内容等
	全体	うち負担金	全体	うち負担金	全体	うち負担金	
魅力倍增推進会議負担金(交付金対象)	34,600	34,600	27,400	27,400	0	0	
魅力倍增推進会議負担金(単費)			(34,600)	(34,600)			
委託料、補助金、助成金	3,309		500		2,809		県委託料 調査・モニターツアー等
会費	252		390		△ 138		
手数料、広告料、受取利息	46		300		△ 254		
寄附金	520		6,000		△ 5,480		
旅行商品売上	1,352		2,000		△ 648		
旅行商品仕入	△ 1,245		△ 1,800		555		旅行商品手配業(SUP体験モニターツアー)
小計	38,834	34,600	34,790 (41,990)	27,400 (34,600)	△ 3,156	0	
前年度からの繰越額	824		824		0		※基準資産=1,374千円(固定資産549,504円)
合計	39,658	34,600	35,614 (42,637)	27,400 (34,600)	△ 3,156	0	

支出

項目	2019年度決算額		2019年度予算額		差額		内容等
	全体	うち負担金	全体	うち負担金	全体	うち負担金	
1 日本版DMO登録	0		0		0		
日本版DMO本法人登録	0		0		0		
2 着地型旅行商品の企画販売、法に基づく旅行業	1,595	644	5,210	4,910	△ 3,615	△ 4,266	
第2種旅行業登録関係ANTA入会金等	0		3,400	3,400	△ 3,400	△ 3,400	
HPでの自社プランの直接販売(2種登録後)	0		1,020	720	△ 1,020	△ 720	
WEB決済システム(2種登録後)	0		240	240	△ 240	△ 240	
※豪州メディアツアー	919		0		919		受託事業
提案営業、商談会等参加	653	623	350	350	303	273	旅費等
旅行会社企画担当者向けFAMツアー	23	21	200	200	△ 177	△ 179	ツアー実施経費
3 体験型旅行の誘致、受入体制整備	2,381	2,099	2,690	2,240	△ 309	△ 141	
人材育成研修	451	391	500	500	△ 49	△ 109	【助成金60千円充当】セミナー開催等
※体験型モニターツアー	167		450		△ 283		受託事業
ポタリングツアー企画	142	142	100	100	42	42	
インバウンド団体誘客	818	814	940	940	△ 122	△ 126	委託費
商談会等参加	803	752	700	700	103	52	旅費等
4 特産品企画・開発・販売	39		190		△ 151		【手数料充当】
ネットショップ運営	15		90		△ 75		支払手数料、教育研修費
新しい味覚プロジェクト	24		100		△ 76		旅費交通費
5 広域観光振興	10,803	10,170	5,650	5,650	5,153	4,520	減価償却費124,416除く
デジタルマーケティングの効果的運用	2,638	2,638	3,900	3,900	△ 1,262	△ 1,262	委託費等
※調査研究業務	528		0		528		受託事業
広告費	3,725	3,725	1,000	1,000	2,725	2,725	広告費等
HP改修、運営、メンテナンス	3,699	3,599	400	400	3,299	3,199	改修、年間保守管理・メンテナンス委託費
旅行博参加等	213	208	350	350	△ 137	△ 142	諸会費、旅費等
6 損害保険代理店	0		10		△ 10		
損害保険代理店業務	0		10		△ 10		
事業費小計	14,818	12,913	13,750	12,800	1,068	113	
7 共通経費	21,703	21,687	14,600 (21,800)	14,600 (21,800)	△ 97	△ 113	
人件費	15,872	15,872	10,800 (16,647)	10,800 (16,647)	△ 775	△ 775	人件費、賞与、法定福利費、厚生費、旅費交通費(通勤手当)、保険代
需用費	2,188	2,172	750 (770)	750 (770)	1,418	1,402	光熱水、ガソリン、諸会費等、旅費交通費 荷造運賃、地代家賃等
役務費	1,198	1,198	1,550 (1,695)	1,550 (1,695)	△ 497	△ 497	通信費、支払手数料、租税公課 (未払法人税金)、会議費等
借損	2,252	2,252	1,300 (1,983)	1,300 (1,983)	269	269	事務機器・車リース、家賃
備品	193	193	200 (705)	200 (705)	△ 512	△ 512	商談用PC
単年度予算小計	36,521	34,600	28,350 (35,550)	27,400 (34,600)	971	0	
次年度への繰越額	3,137		7,264		△ 4,127		
繰越額	3,137		7,264		△ 4,127		
合計	39,658	34,600	35,614 (42,637)	27,400 (34,600)	△ 3,156	0	

# 検証資料4

## 地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告 (各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

本事業における重要業績評価指標	本事業開始時 (H26)	目標年 (R2.3)	本事業終了時 (R2.3)	実績 (R2.3)	R1年度実績値
無人航空機の操縦士および安全運航管理者数	0人/年	20人/年	20人/年	27人	那賀スクール:18人(那賀高講習分) 町民:9人
ドローン利活用件数	0件/年	2件/年	2件/年	23件/年	林業・建設分野・災害撮影・観光資源・イベント関係・実証実験等
雇用創出数	0件/年	20件/年	20件/年	9件/年	那賀高校森林クリエイト科第2期生 (林業関係就職者数)

交付対象事業の名称	実績額		外部有識者からの評価	
	単位:円	内交付金	総合戦略KPI達成への効果	外部有識者からの意見
那賀町ドローン利活用推進事業				
1 那賀校生(1,2年生)ドローン操作講習	2,299,000	1,149,500	無 1 2 3 4 ⑤ 有	<p>・那賀高校森林クリエイト科において、ドローン支援のおかげで、最先端かつ特色のある授業が出来て大変役立っている。</p> <p>・ドローンのおかげで企業からも即戦力として評価され、県内外を問わず雇用促進に役立っている。</p> <p>・ドローンは若年層にも興味を持ってもらいやすい最先端の機器であるので効果的だと思う。</p>
那賀校生(3年生)ドローン操作講習及びUAV森林測量講習	993,600	496,800		
2 WEBマップ開発	990,000	495,000	無 1 2 3 ④ 5 有	<p>・災害時にドローンを役立てる方法を模索してほしい。また、防災や産業にもドローンが活用できるように検討してほしい。</p> <p>・ドローンで撮影した写真などを利用し、那賀町をPRする機会を作ってほしい。</p>
WEBマップデータ整備	1,496,000	748,000	無 1 2 3 ④ 5 有	
航空管理システム開発	495,000	247,500	無 1 2 3 ④ 5 有	
航空管理システム運用・操作スタッフ育成講習2回	495,000	247,500	無 1 2 3 ④ 5 有	
3 位置伝送装置	1,404,000	702,000	無 1 2 3 ④ 5 有	
合計	8,172,600	4,086,300		



**【名称】** 那賀校生（1，2年生）ドローン操作講習

**【事業主体】** 一般社団法人UAS多用推進技術会

**【総事業費】** 2,299,000 円

うち、地方創生推進交付金 1,149,500 円

**【名称】** 那賀校生（3年生）ドローン操作講習

及び UAV 森林測量講習

**【事業主体】** 一般社団法人UAS多用推進技術会

**【総事業費】** 993,600 円

うち、地方創生推進交付金 496,800 円

名称 那賀高校生(1.2年生)ドローン操作講習

総事業費 2,299,000円(内交付金:1,149,500円)

実施期間 R1.10.16～R2.1.22 (計4日間)

事業概要 県立那賀高等学校では、平成28年度に「森林クリエイト科」(林業系統専門の学科)が新設され、持続可能な循環型社会の形成に向けた、人と森林の新たな関わり方を創造し、地方創生を担う人材育成に取り組んでいる。  
本町は、徳島県版ドローン特区としてドローンを利活用した林業分野での実証実験を実施していることから、ドローンの特性を学び、技術習得するためのカリキュラム作成を目指す、那賀高校生徒(1年生及び2年生)にドローンの基礎的な知識及び操縦技能の講習を行うことで、本町における新たな人材育成の場の構築を目的としている。

・受講者数

森林クリエイト科生徒 1年生 19人・2年生 17人

・カリキュラム

1年生(前期)

座学講習(UAS概論、法律・ルール、運用)、実技講習(手動操縦、自動航行)

2年生(後期)

座学講習(UAS概論、法律・ルール、自然科学、技術)、実技講習(手動操縦、自動航行)

○1年生



○2年生



名称 那賀校生(3年生)ドローン操作講習及びUAV森林測量講習

総事業費 993,600円(内交付金:496,800円)

実施期間 R1.5.15～R1.6.20 (計3日間)

事業概要 1・2学年と操縦講習を実施。最終学年では、ドローンの基礎的な知識及び操縦技能の試験を実施するとともに、ドローンを使用した測量講習を実施。

・受講者数

森林クリエイト科生徒 3年生 18人

・カリキュラム

座学試験

実技講習・試験(操作指導、手動操縦)

実技講習(UAV自動航行、対空標識設置・GNSS観測、対空標識観測)

データ解析演習

○実技講習・試験



○測量講習



【名称】 WEB マップ開発

【事業主体】 株式会社タチバナコンサルタント

【総事業費】 990,000 円

うち、地方創生推進交付金 495,000 円

【名称】 WEB マップデータ整備

【事業主体】 株式会社タチバナコンサルタント

【総事業費】 1,496,000 円

うち、地方創生推進交付金 748,000 円

【名称】 航空管理システム開発

【事業主体】 株式会社タチバナコンサルタント

【総事業費】 495,000 円

うち、地方創生推進交付金 247,500 円

【名称】 航空管理システム運用・操作スタッフ育成講習 2 回

【事業主体】 株式会社タチバナコンサルタント

【総事業費】 495,000 円

うち、地方創生推進交付金 247,500 円

名称 WEBマップ開発

総事業費 990,000円(内交付金:495,000円)

実施期間 R1.11.14～R2.1.31

事業概要 町内の様々なジャンルの情報を複合的にひとつのWEBマップ上に集約するためのシステム開発業務。

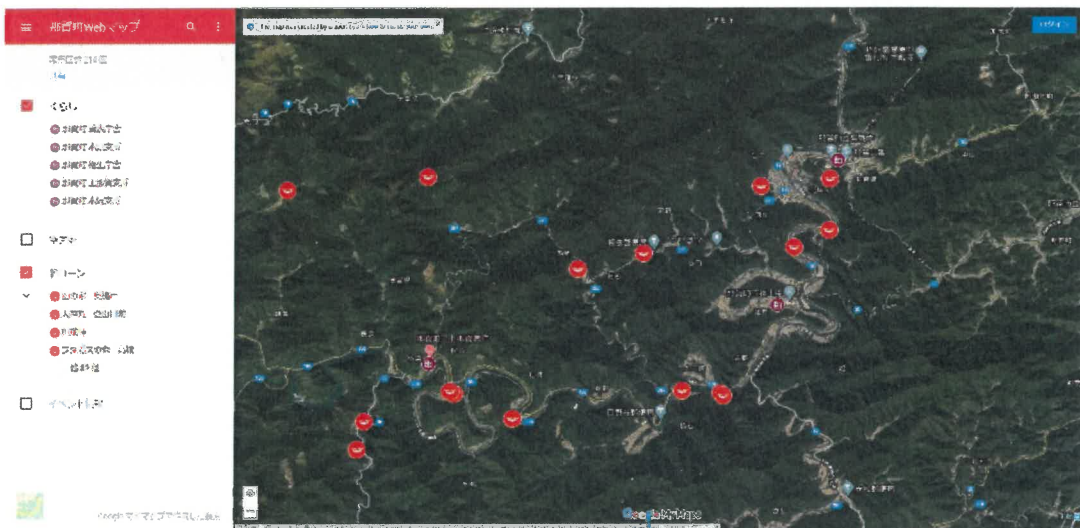


名称 WEBマップデータ整備

総事業費 1,496,000円(内交付金:748,000円)

実施期間 R2.2.14~R2.3.19

事業概要 本町におけるイベントや四季折々の自然情報、ドローンマップ情報などの観光向け情報  
また空き家・空き地などの移住支援情報等をWEBマップ上に整備することで、観光客の  
来町頻度・滞在時間・滞在エリアの増加に繋げ、町全体の活性化を目的に実施。



名称 航空管理システム開発

総事業費 495,000円(内交付金:247,500円)

実施期間 R1.10.30~R2.1.31

事業概要 ドローンのさらなる産業利用の推進、また観光資源として利活用をするにあたり、安全対策としてドローン運用現場の位置情報を把握するための仕組みを構築。今後のドローン高度利活用とドローンの普及を目的に実施。



名称 航空管理システム運用・操作スタッフ育成講習2回

総事業費 495,000円(内交付金:247,500円)

実施期間 R2.2.3～R2.3.19

事業概要 航空管理システムの運用・操作講習会を実施。操縦資格取得職員を対象。  
受講人数:11名





【名称】 位置伝送装置

【事業主体】 一般社団法人U A S 多用推進技術会

【総事業費】 1,404,000 円

うち、地方創生推進交付金 702,000 円

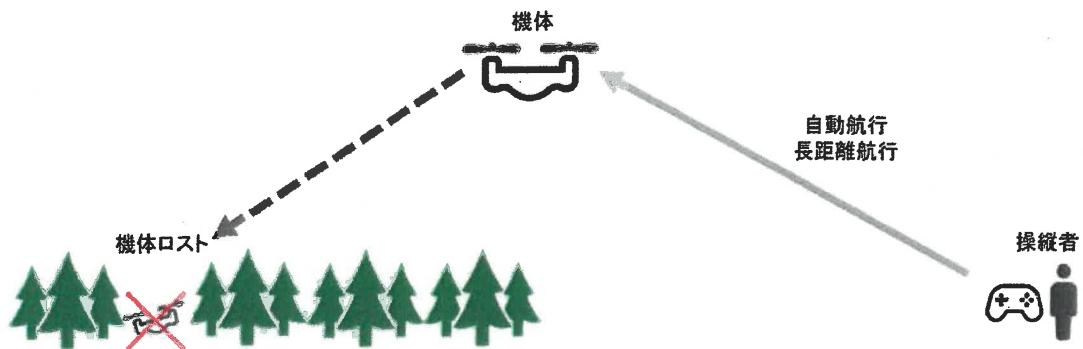
名称 位置伝送装置

総事業費 1,404,000円(内交付金:702,000円)

納入日 長距離位置伝送・受信システム(R1.8.30)

事業概要 機体がロスト(行方不明)になった場合、操縦側の飛行履歴(GPS)により、おおよその位置は想定可能だが、詳細な位置情報の把握が至難  
位置伝送装置の検知システムを活用することによって、機体の位置を絞り込むことが可能となる。

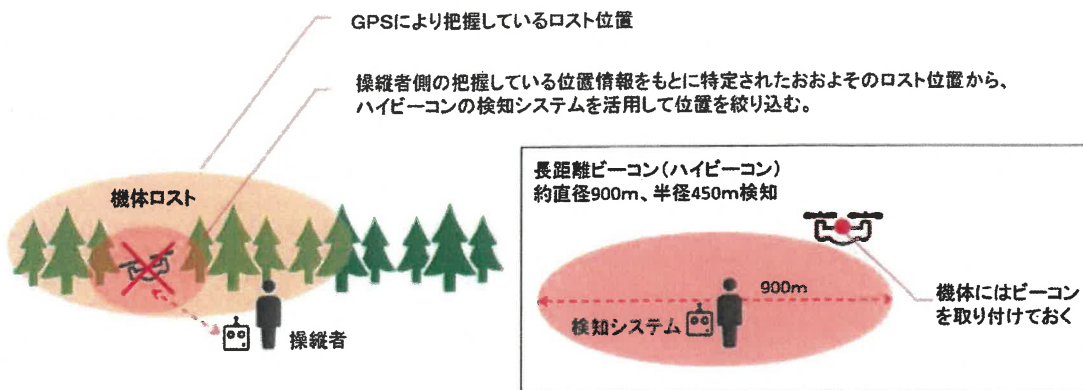




操縦側の飛行履歴(GPS)により、おおよその位置は想定可能。  
 (詳細位置はGPS精度・機体のロスト状況による)  
 ・風の影響、ロスト直前の制御、操縦機との通信状況



広範囲なエリアから機体を探すのは時間がかかる



# 検証資料5

## 地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告 (各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

本事業における重要業績評価指標	本事業開始時 (H30)	目標年 (R6.3)	本事業終了時 (R2.3)	実績 (R2.3)
民間企業の障がい者雇用率	2.17%	0.13%増	0.03%増	0.09%増
障がい者就労支援施設利用者の工賃(月額)	22,200円	1,500円増	100円増	10月頃判明
健康ポイント事業参加者(ダウンロード)数	0人	3万人増	5千人増	5414人増
高等教育機関と連携して実施するリカレントプログラム件数	0件	7件増	3件増	5件増
那賀町独自目標 フレイルトレーナー・フレイルサポーター養成数	0人	150人増	30人増	34人増

フレイルトレーナー5名  
フレイルサポーター29名

交付対象事業の名称	実績額		外部有識者からの評価	
	単位:円	内交付金	総合戦略KPI達成への効果	外部有識者からの意見
1 健康経営・リカレントを核とした「人生100年時代」への挑戦プロジェクト(フレイル予防推進事業) ◎高齢者、障害者など多様な人材が活躍できる基盤の構築 ◎モデル地区におけるフレイルトレーナー養成講座・フレイルチェック実施運営	2,278,000	1,139,000	無 1 2 3 4 5 有	・高齢者の社会参加、生きがいづくり、健康寿命など医療費削減につながるいい取り組みである。 ・健康体であるということが災害時の生存率につながっている。 ・フレイルという言葉にまだ馴染みがなく、フレイルという言葉が広く浸透するまでは事業の説明やPRを積極的に行った方がいい。
合計	2,278,000	1,139,000		

【名称】 健康経営・リカレントを核とした「人生100年  
時代」への挑戦プロジェクト  
(フレイル予防推進事業)

【事業主体】 那賀町社会福祉協議会

【総事業費】 2,278,000 円

うち、地方創生推進交付金 1,139,000 円

## はじめに

「人生90年」をいつまでも元気にいきいきと暮らしていくことが、高齢社会に突入した私たちの大きな課題です。

東京大学高齢社会総合研究機構では、「われわれはどう弱っていくのだろうか」というテーマをもとに、多くの高齢者にご協力いただき、大規模な健康調査を実施しました。

そこからわかったことは、「しっかり食べる」「しっかり運動する」「社会とのつながりをもつ」という3

つのことができれば、加齢に伴うからだやこころの衰えを予防したり、改善することができるといふことです。

そこで、「フレイルチェック」は、今までとは違った視点で、皆さんのからだやこころの状態がどのような状況におかれているのかを、楽しみながら確認でき、振り返っていたり、よくよい機会になるように開発いたしました。

定期的にフレイルチェックを受け、自分のからだやこころの状

態がどのように変わっていくのかを比較し、意識していくことも大切です。そして、次回までに今より少しでも改善できるように自分に合った活動を実践していきましょう。その活動の積み重ねが、皆さんの将来（人生）に大きな影響を与えることは間違いありません。

本ハンドブックは、フレイル予防のためのヒントをまとめました。ぜひ参考にしていただき、これからの生活の一助になれば幸いです。

東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座講師、米国スタンフォード大学医学部研究員を経て現職。一億総活躍国民会議 有識者民間議員に就任。日本老年医学会高齢者災害医療小委員会委員。



飯島勝矢  
IIJIMA Katsuya  
東京大学  
高齢社会総合研究機構

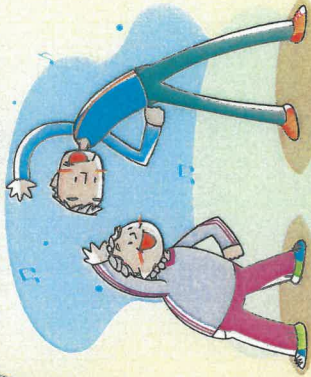
専門は老年医学、老年学（シエロントロジー：総合老年学）、特に千葉県柏市をフィールドとする課題解決型実証研究（アクションリサーチ）を基礎とした長寿社会に向けたまちづくり、(2)フレイル（虚弱）予防～介護予防の臨床研究、(3)在宅医療に関する推進活動と臨床研究、およびその大学卒前教育や多職種連携教育。

阪神淡路大震災（1995年）から東日本大震災（2011年）までの震災後の避難現場において医療班としての支援活動を経験。

しっかり食べて



しっかり動いて



みんな楽しく



いつまでも元気でいるために、  
だから今からフレイル予防。



フレイル予防  
ハンドブック

監修：飯島勝矢  
東京大学高齢社会総合研究機構



## 健康長寿を目指す、 3つの心得。

年をとると誰もが体力や筋力が低下し、日常の買い物に出かけるなどの行動が面倒だと感じるようになってきます。そして、人と接する機会が減ったり、食生活のバランスが崩れることにより、ますます体が衰え、さらには判断力・認知機能といった頭の働きも低下するという悪循環が起きてしまいます。

東京大学高齢社会総合研究機構では、千葉県柏市で高齢者約

2000人を対象とした大規模な調査（柏スタディ）を実施しました。その結果、毎日いきいきと健康的な生活を送っていくためには、「しっかりと噛んで、しっかりと食べること」、「運動をすること」、「社会参加をすること」をバランスよく実践することが非常に大切であることがわかりました。

「健康寿命」と「平均寿命」の差を短くするためには、日常生活における様々な老化のサインを早期に発見し、年をとるにつれて出現する生活機能の低下を予防することが必要です。健康寿命を延ばすヒントが、このハンドブックには載っています。いきいきと健康に暮らしていくための参考にしてください。



## 知っていますか？ 健康寿命。

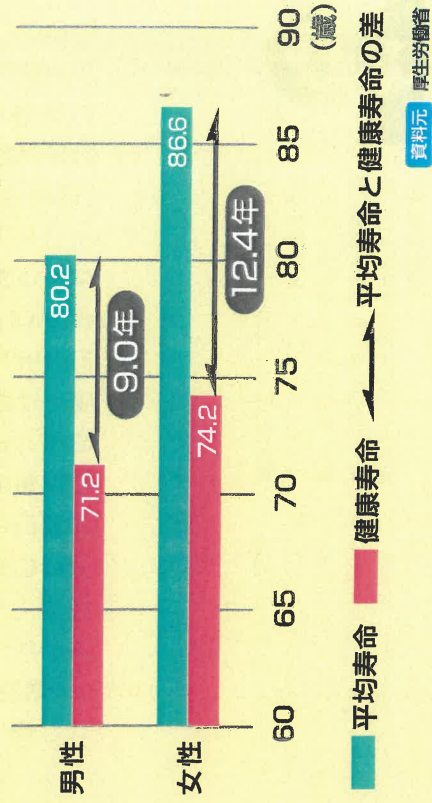
日本はすでに、4人に1人が65歳以上の超高齢社会に突入しています。また2025年には、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、その数は2000万人以上になると推計されています。

「健康寿命」とは、元気に自立して日常生活を送ることができる期間のことです。厚生労働省は、「健康寿命」と「平均寿命」には男性で約9年、女性で約12年の差があることを公表



健康長寿のための3つの柱「栄養」「運動」「社会参加」の具体的な実践方法を7ページからご紹介していますので、ぜひ参考にしてください！

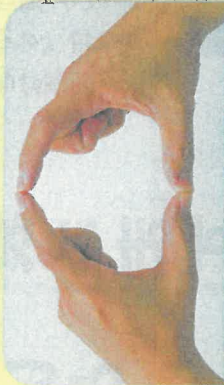
平均寿命と健康寿命の差 (2013年)



健康寿命とは、元気に自立して日常生活を送ることができる期間のことです。

# 『指輪っかテスト』 で自己チェックを!

まずは自分の筋肉量を測ってみましょう。  
計測器は使わずに自分の指を使う簡易型のチェックです。

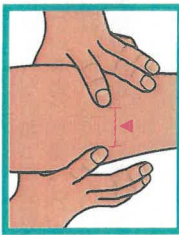


**1**  
両手の親指と人差し指で輪を作ります。



**2**  
利き足ではない方のふくらはぎの一番太い部分を力を入れずに軽く囲んでみましょう。

サルコペニアの危険度の高まりとともに、様々なリスクが高まっていくことがわかってきています。



囲めばいい

低い



ちょうど囲める

サルコペニアの危険度



隙間ができる

高い

転倒・骨折  
などの  
リスク

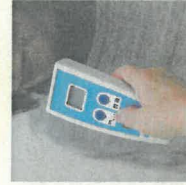
※「指輪っかテスト」は、東京大学高齢社会総合研究機構が実施した柏スタディをもとに考案されました。



みなさん楽しく参加されています



筋肉量の測定



握力の測定



片足立ちテスト

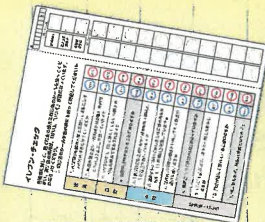
フレイルチェックを定期的に(半年あるいは1年に1回)測定しましょう。

# 『イレブン・チェック』

みんなをやってみよう!



フレイルの兆候があるかどうか11の項目に答えてみましょう。  
次のページでフレイル予防のポイントを紹介しています。



『イレブン・チェック』表

## 『イレブン・チェック』11項目

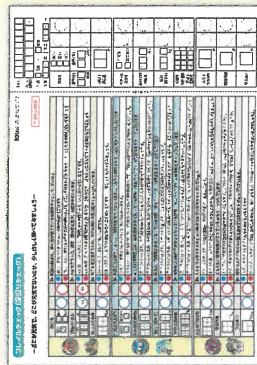
回答欄	いいえ	はい
Q1 ほぼ同じ年齢の同性と比較して健康に気をつけた食事をおこなっていますか	いいえ	はい
Q2 野菜料理と主菜(お肉またはお魚)を両方とも毎日2回以上は食べていますか	いいえ	はい
Q3 「さきいか」「たくあん」くらいの固さの食品を普通に噛みきれますか	いいえ	はい
Q4 お茶や汁物でむせることがありますか *	はい	いいえ
Q5 1回30分以上の汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していますか	いいえ	はい
Q6 日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか	いいえ	はい
Q7 ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速いと思いますか	いいえ	はい
Q8 昨年と比べて外出の回数が減っていますか *	はい	いいえ
Q9 1日1回以上は、誰かと一緒に食事をしますか	いいえ	はい
Q10 自分が活気に溢れていると思いますか	いいえ	はい
Q11 何よりもまず、物忘れが気になりますか *	はい	いいえ

※ Q4・Q8・Q11は「はい」と「いいえ」が逆になっていますので注意してください

※ 回答欄の右側に○が付いた時は要注意です

## 『こんなことも分かります』 自分の状況を知ってみよう!

フレイルチェックでは、筋肉量やお口の機能について詳しく測定することができます。是非ご参加ください。





様式第5号(第8条関係)

那賀社協発第36号

令和2年 3月25日

那賀町長 坂 口 博 文 様

徳島県那賀郡那賀町延野字王子原31番地1

社会福祉法人那賀町社会福祉協議会

会長 伊 藤 英 志



平成31年度那賀町地方創生推進交付金事業実績報告書  
(フレイル予防推進事業補助金)

平成31年4月26日付け那賀指令第57号による補助事業を実施したので那賀町補助金交付規則第8条の規定により、その実績を報告いたします。

- |                |                                      |
|----------------|--------------------------------------|
| 1 補助金交付額       | <u>2,278,000円</u>                    |
| 2 事業の目的        | 平成31年度那賀町地方創生推進交付金事業<br>(フレイル予防推進事業) |
| 3 事業の内容(事業の実績) | 添付資料のとおり                             |
| 4 事業の実施年月日     | 平成31年4月26日～令和2年3月25日まで               |
| 5 その他必要事項      | 添付資料：事業・決算報告書<br>その他必要書類             |

## 平成31年度 フレイル予防推進事業決算書

### 【収入】

県事業

(単位:円)

区分	予算額	決算額	決算額	内訳
補助金等	¥1,139,000	¥1,139,000	¥483,190	那賀町補助金
社協負担金	¥1,139,000	¥1,139,000	¥0	
合計	¥2,278,000	¥2,278,000	¥483,190	

### 【支出】

県事業

(単位:円)

項目	予算額	決算額	決算額	内訳
賃 金	¥1,774,000	¥1,775,649		社会福祉協議会臨時職員1名 給与・手当¥1,421,221+ 賞与¥135,200+社保¥219,228
報 償 費	¥166,000	¥165,800		フレイル予防啓発講座(1日)神谷氏 謝金 ¥17,900×2H トレーナー養成講座講師(2日)谷口氏 謝金 ¥50,000×2日 フレイルトレーナー 謝金 ¥15,000×1人×2日
			¥133,554	養成講座支援サポーター謝金
	¥166,000	¥165,800	¥133,554	小計
旅 費			¥112,567	フレイル予防啓発講座(1日)神谷氏 トレーナー養成講座講師(2日)谷口氏 旅費・宿泊費等 紀の川市視察
需 用 費	¥118,000	¥117,679		事務用品(コピー用紙・チラシ・名札・マジック・電卓・クリップボード) 印刷製本費(ハンドブック)・フレイル予防啓発講演会チラシ
			¥44,074	ハンドブック・トレーナーテキスト・サポーターテキスト
			¥37,323	サポーターTシャツ20名
	¥118,000	¥117,679	¥81,397	小計
役 務 費	¥2,000	¥1,339		はがき・レターパック
委 託 料	¥192,000	¥192,153		健康・生きがい開発財団委託 ¥114,000+¥302×100+税=¥158,620 ¥455×67+税=¥33,533
貸借借日	¥26,000	¥25,380		PCリース料 ¥2,538×10ヶ月=¥25,380
備品購入費			¥71,000	体組成計
			¥54,000	滑舌測定器
			¥30,672	握力計
	¥0	¥0	¥155,672	小計
合計	¥2,278,000	¥2,278,000	¥483,190	

## 平成31年度フレイル予防事業実績

	項 目	摘 要
①	実施主体 担 当 課 担当連絡先	<p>那賀町社会福祉協議会 那賀町まち・ひと・しごと戦略課 那賀町社会福祉協議会 本所 連絡先 電話 0884-64-0026 ファックス 0884-64-0065 内線 2160 Email <a href="mailto:nakasyakyo@mb.pikara.ne.jp">nakasyakyo@mb.pikara.ne.jp</a> ※徳島県フレイル予防推進事業のモデル事業を受ける</p>
②	住民向けの フレイル予防啓発講演会 『地域ぐるみでフレイル予防』 ～つながりが健康をつくる～	<p>日程：令和元年10月18日(金) 10:00～12:00 会場：那賀町林業ビジネスセンター 講師：東京大学高齢社会総合研究機構 神谷 哲朗氏 参加者：161名</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレイルにならないために、フレイル予防が大切。「栄養・運動・社会参加」健康長寿には3つの柱が大切。</li> <li>・つどいの場を気づきの場に。</li> <li>・運動だけが健康を作っているわけじゃない。人とのつながりが大事。</li> <li>・高齢になっても、地域でみんなが健康でお互いに助け合いや支え合いができる町に自分たちで変えていく。</li> <li>・イレブンチェックをして簡単なフレイルチェック体験をした。</li> <li>・アンケート実施</li> </ul>
③	フレイルトレーナー養成研修 フレイルサポーター養成研修	<p>住民啓発講演会終了後参加者を募集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果により選出した。</li> </ul> <p>日程：令和元年11月27日(水)28(木)（2日間） 会場：相生老人福祉センター 大広間 講師：和歌山県紀の川市 トレーナー 谷口 和也氏 支援サポーター 畠中 美文氏、吉田 千恵美氏 紀の川市職員とサポーター4名(2日目のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養成研修の案内の送付</li> <li>・トレーナー・サポーター研修参加者名簿作成</li> <li>・資料や測定器具の準備</li> <li>・身長計(保健センターから借りる)</li> <li>・名札作成</li> <li>・養成研修修了証作成 等</li> </ul>

		<p>1日目(14:00~16:00)</p> <p>【内容】PM 座学(フレイル予防について学ぶ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレイル予防について学んだ後、簡易チェックの指輪っかテスト、イレブンチェックをした。</li> </ul> <p>2日目(9:30~16:00)</p> <p>【内容】AM 実技(計測の仕方や器具の使い方)</p> <p>PM フレイルチェック実施(実際に測定する)</p> <p>反省、振り返り、今後の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・深掘りチェックやグループに分かれて測定の練習をする。 (体組成計・握力・片足立ち・ふくらはぎ周囲長・滑舌)</li> <li>・昼からフレイルチェックの実践をする。 サポーターはTシャツを着てフレイルチェックをする。</li> <li>・フレイルチェックが終わると、谷口トレーナーを交えて反省や振り返りをする。</li> </ul>
④	初年度フレイルチェック対象地域の選定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初年度なので、旧町村地区でサポーターの人数が確保できる地区を選定した。</li> <li>・次年度以降は対象者や地区の拡大をしていきたい。</li> </ul>
⑤	フレイルチェックの実施	<p>日程：令和元年11月28日(木)13:00~15:00</p> <p>場所：相生老人福祉センター</p> <p>参加者：15名</p> <p>日程：令和2年1月22日(水)14:00~16:00</p> <p>場所：相生老人福祉センター ※別紙1</p> <p>参加者：14名</p> <p>日程：令和2年2月3日(月)14:00~16:00</p> <p>場所：上那賀合同出張所</p> <p>参加者：14名</p> <p>日程：令和2年2月18日(火)9:30~11:30</p> <p>場所：鷺敷母子健康センター</p> <p>参加者：12名</p> <p>日程：令和2年2月26日(水)13:30~15:30</p> <p>場所：雄公民館</p> <p>参加者：12名</p>

# フレイル予防事業 講演会

人生100歳時代の到来

## 地域ぐるみでフレイル予防

～つながりが健康をつくる～

参加無料

日時 令和元年 **10月18日**(金) 午前10時～12時

場所 **那賀町林業ビジネスセンター** (那賀町吉野字弥八かへ23)

講師 東京大学高齢社会総合研究機構 **神谷 哲朗 氏**



「健康」「認知」「介護」「高齢」「体力」「栄養」「地域」「仲間」「生きがい」などに関心のある人は、ぜひお話を聞きに来てください！ 簡単なフレイルチェックの仕方も紹介します。

参加を希望される方は 9月27日(金)までに、下記までご連絡をお願いします。

ところで、  
フレイルって  
なに？



フレイルとは、加齢にともない、心身の活力が低下した状態のことを言います。フレイルは予防・改善ができます！ NHK「**ガッデン!**」でも、「最強の寝たきり予防法」として紹介されていました。



あなたの健康応援します。フレ～！フレ～！フレイル予防！！

連絡先

那賀町地域包括支援センター (湯浅) TEL 0884-62-3901  
那賀町社会福祉協議会 (山川) TEL 0884-64-0026

# 令和元年度フレイルチェック実施報告 まとめ

## 1. 実施概要

日 時	開催地域	参加者（対象者）数	サポーター数
11月28日(木)	相生	15名	29名
1月22日(水)	相生	14名	9名
2月 3日(月)	上那賀	14名	8名
2月18日(火)	鷲敷	12名	10名
2月26日(水)	相生	12名	10名
計 5 回		67名	29名(延べ)

## 2. チェック参加数（男女別・年齢別）

	40歳未満	40代	50代	60代	70代	80代	90歳以上	合計
男性				2	5	5	2	14
女性				7	19	22	5	53
合計				9	24	27	7	67

## 3. サポーター数（男女別・年齢別）

	40歳未満	40代	50代	60代	70代	80代	90歳以上	合計
男性				3	5	1		9
女性				10	7	2	1	20
合計				13	12	3	1	29

## 4. 課題・振り返り

11月末から2月末にかけて月に1～2回の頻度でフレイルチェックを5回実施する。サポーターの確保が難しい場合もあるので、次年度は早めに養成研修を開催してサポーターの人数不足を解消したい。

2月末に実施したフレイルチェックは新型コロナウイルスやインフルエンザの感染防止のため、会場の全員がマスクを着用し活動の前後に消毒スプレーを使用する。

## 5. 今後の取り組み

次年度は年度当初早い時期にサポーター養成研修を開催してサポーターを増やし、フレイルチェック実施地区を拡大する。

フレイルチェックの合間に連絡会(仮称)を開催しサポーターのスキルアップを図り、フレイルチェック後の答え合わせが重要なので、フレイル予防をしっかりと伝えていく。

### 【東京大学高齢社会総合研究機構からのレポート結果】

青シールが9割を超えていたのは「人とのつながり」「組織参加」「支え合い」の項目で健康長寿3つの柱の中で特に気をつけると良い社会参加が出来ている事が分かった。

赤シールが5割を超えていたのは「お口の元気度」「片足立ち」の項目であった。深掘りチェックの中で口腔ケアを意識されてる方が少ない事と筋肉量が十分あるにも関わらず片足立ちが出来ない方が多いことが分かった。

フレイルトレーナーの自己紹介



紀の川市のサポーター



講師 谷口トレーナー



フレイルトレーナー・サポーター養成研修 1日目 no. 2





フレイルトレーナー・サポーター養成研修 2日目 no. 1



片足立ち



握力測定

体組成計



ふくらはぎ周囲長

滑舌測定



フレイルトレーナー・サポーター養成研修 2日目 no. 2



フレイルトレーナー・サポーター養成研修 2日目 no. 3



受付



身長計測



指輪っかテスト



フレイルチェック後のミーティング



受付



滑舌測定



咬筋チェック



ふくらはぎ周囲長



受付前の団らん



受付



脳トレのレクリエーション



受付

ミーティング



体組成計



片足立ち



握力測定



脳トレのレクリエーション



吉田トレーナーのストレッチ

